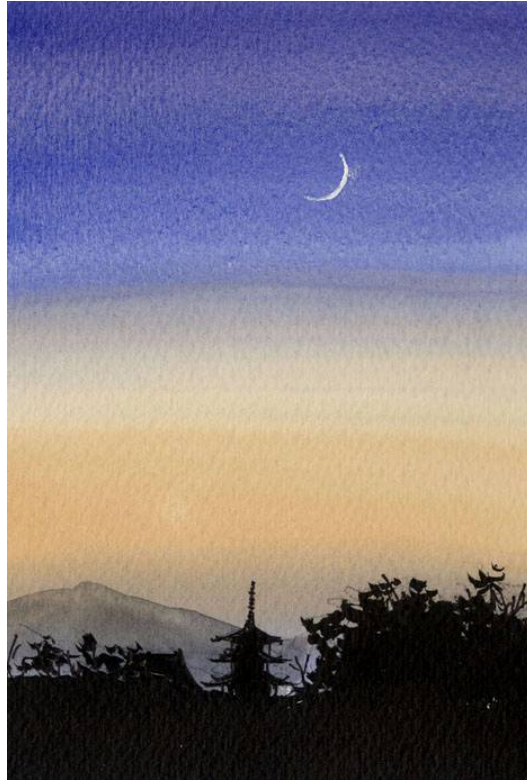


水彩画教室 「斑鳩の月」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

武蔵野を舞台に多くの私小説を残した上林 暁は「一度文章に描いてしまった風景は もう興味を持ってない」と述べています わかるような気がします 気に入った構図で風景を描いたあと 同じ構図でもう一枚描くのは あまり面白いことはありません しかし何度描いてもその都度新鮮な印象を受ける風景もあります この絵も横構図を縦構図に変えて描いたら ずいぶんちがった印象になりました



これが完成した絵です



1、空のグラデーションは「平筆」を使うとあっさり描けます



2、月はあとから描きましたが やや失敗しました



3、遠くの山は淡いブルーグレーで空に重ねます



4、樹木と建物の屋根の組み合わせ



5、三重塔も少し曲がってしまいました・・・



6、樹木(常緑樹)は完全にシルエットで描きます